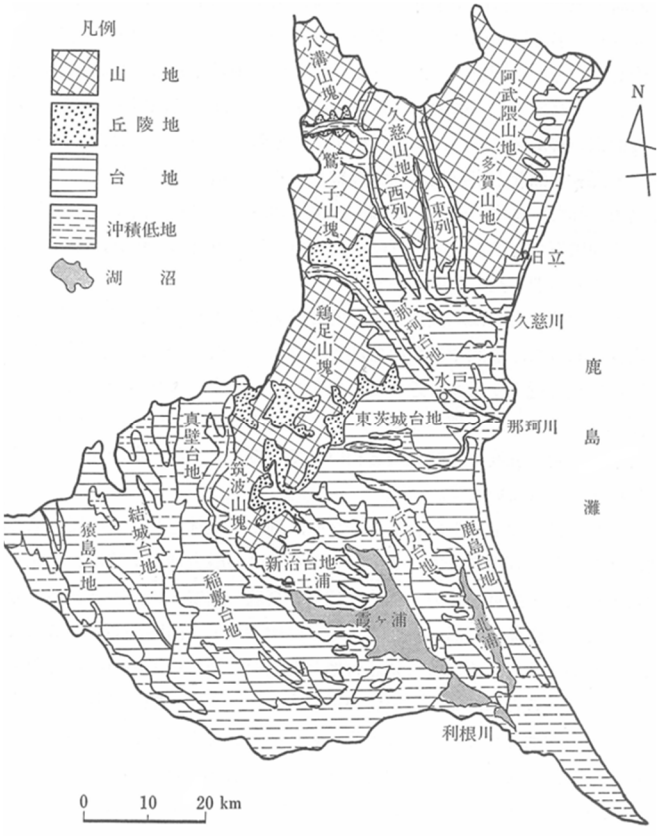
常陸太田市の地勢と気象



常陸太田市は、茨城県の県北地域に位置する。北は福島県(矢祭町、塙町)に、東は高萩市と日立市に、南は那珂市に、西は大子町と常陸大宮市に接している。市の北部を大北川が、市の南部(那珂市との境)を久慈川が、久慈川の北を茂宮川が流れている。また、市内を南北に里川が流れ市の南東部で久慈川と合流する。更に、久慈川の東を浅川が流れ久慈川と合流する。大北川は、常陸太田市と福島県との県境に位置する三鈷室山を水源とする二級河川(県管理)で、流路の小山ダム(高萩市横川)を経て、北茨城市で花園川と合流し太平洋に注ぐ。久慈川は、茨城県、福島県、栃木県の三県にまたがる八溝山を水源とする一級河川(国管理)で、日立市と東海村の境を経て太平洋に注ぐ。茂宮川は、常陸太田市の南東部を水源とする一級河川(県管理)で、日立市で太平洋に注ぐ。里川は、常陸太田市里川町を水源とする一級河川(県管理)で、同市堅磐町で久慈川と合流する。浅川は、常陸大宮市と常陸太田市の境付近を水源とする一級河川(県管理)で、常陸太田市で久慈川と合流する。市の西部(常陸大宮市との境付近)、竜神川流域の竜神湖には竜神ダムがあり、山田川を経て久慈川と合流する。



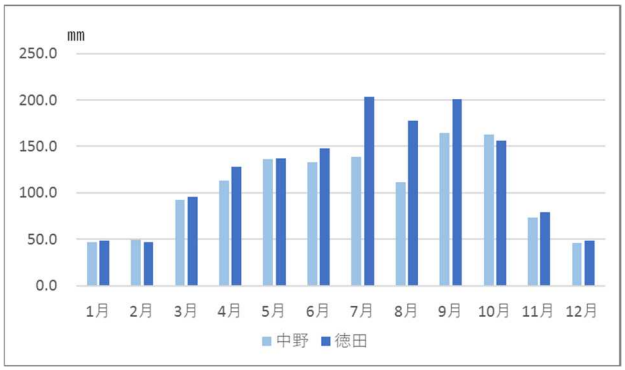
茨城県の地形区分(出典:茨城県　地学のガイド;1977, コロナ社)

地形は、市の南側は関東平野の北端、市の北側の大半は山地(阿武隈高地南部)で、里川を境に多賀山地(東側)と久慈山地(西側)に分断される。多賀山地の主な山としては、市の北部に三鈷室山(標高870m)や妙見山(標高 652m)が、市の東部に竪破山(標高 658m)や高鈴山(標高 623m)がある。久慈山地の主な山としては、市の北西部(大子町との境)に男体山(標高 654m)、白木山(標高 616m)、高崎山(標高 594m)などがある。

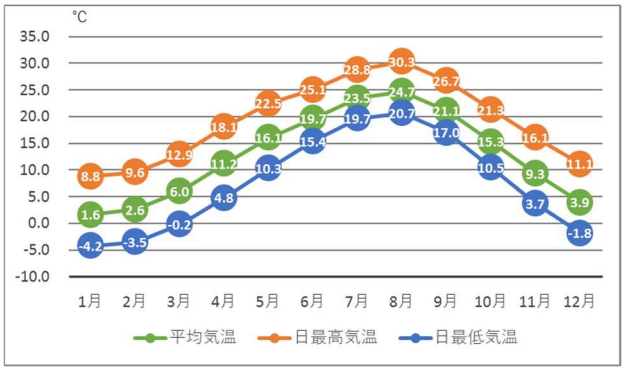
気候は、太平洋側気候で、山岳地域では山岳気候の特徴を併せ持つ。夏季は、太平洋高気圧から吹き出す南よりの風の影響で高温多湿となり雨も降りやすい。冬季は、乾いた北西の季節風が吹き、晴天の日が多く、降雪は少ない。山岳地域では、複雑な地形の影響を受けるため、気候の地域差が著しい。

降水は、冬は少なく、春から夏にかけては梅雨前線の影響などで徐々に多くなり、秋は秋雨前線や台風の影響などで更に多くなる。年降水量の平年値は、北部の山岳地域(徳田)では 1469.4 ㎜、南部の低地(中野)で 1268.2 ㎜となっている。

気温は、夏に 35° C 以上の猛暑、冬に −10° C 以下となることもあるが、平年の気温(常陸大宮)は、夏季の日最高気温が 30.3℃、冬季の日最低気温が −4.2℃で、年平均気温は 12.9℃である。



中野と徳田の降水(月ごとの平年値) 1991 年～2020 年の統計値



常陸大宮の気温(月ごとの平年値) 1991 年～2020 年の統計値

中野の平年値・極値はこちらから
https://www.data.jma.go.jp/stats/etrn/index.php?prec_no=40&block_no=1170&year=&month=&day=&view=

徳田の平年値・極値はこちらから
https://www.data.jma.go.jp/stats/etrn/index.php?prec_no=40&block_no=1173&year=&month=&day=&view=

常陸大宮の平年値・極値はこちらから
https://www.data.jma.go.jp/stats/etrn/index.php?prec_no=40&block_no=1331&year=&month=&day=&view=